

山形県 戸沢村

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくろう

とざわむら 議会だより



2018 No. 128

2018年6月定例会

2p 6月定例会 **今冬の雪害による平成30年度補正予算**

3p **常任委員会報告**（総務文教・産業建設・議会広報）

4-9p **5人が村政を問う** 一般質問

10-11p **県外議員活動**（移住・定住を含む農業先進地の視察研修報告）

12p 花嫁さんに乾杯 海藤 潤さん・佳奈さん夫婦（名高）

常任委員会報告



鮭川右岸の現地確認状況

6月7日に産業建設常任委員会を開催し、5月18日から19日の豪雨による崖崩れの発生した津谷地内・松坂地内についてその状況の現地確認を実施しました。

津谷地内においては、鮭川右岸に面する斜面の崩落が新たに発生し、以前より新庄河川事務所に要望書を提出している区域内でもあり、ただちに

4月に統合された戸沢保育所を視察いたしました。園長先生、福祉課長の説明のもと、ゼロ歳児から5歳児までの各部屋の日常の姿を拝見させていただきました。園児たちの元気なあいさつが、とても清々しく感じた視察でした。

統合して数カ月が過ぎ、施設や人員等の配置は万

総務文教常任委員会

全なのか、施設の不備はないのか、など活発な意見や質問がなされました。総務文教委員会では新たにスタートした戸沢保育所が、より良い施設運営ができるように今後も支援していきたいと思っています。

総務文教常任委員長
小野 宏



戸沢保育所 園児の様子

産業建設常任委員会

住居等に影響を及ぼすものではないにしろ、生活する住民の方々の不安を払拭するよう改めて対策工事等の要望を議会としても実施することを確認し、その他崩落した現場確認を行い終了しました。

産業建設常任委員長
富樫 義人

5月31日に山形国際交流プラザにおいて、山形県町村議会議長会主催で議会広報研修会が開催されました。

議会広報の機能と役割について説明責任を果たし、住民との信頼を築くため編集技術の向上に努力していきます。

議会広報常任委員長
加藤 政一

議会広報常任委員会

平成30年度 一般会計補正予算

今冬の雪害による 保育所・学校施設修繕

平成30年
6月
定例会

議案の主な内容

6月定例会は、6日から8日までの3日間の会期で行われた。報告事項1件、平成30年度補正予算1件、条例改正1件、議員発議1件等を審議し、全議案を可決しました。

一般質問には5名の議員が登壇し、村有地に関する事・移住定住対策等・保育や教育・養豚事業について議論が交わされた。

歳出の主なもの

◎平成30年度一般会計補正予算

一般会計補正予算は歳入・歳出予算の総額にそれぞれ600万円を追加し、歳入・歳出の総額をそれぞれ45億9900万円を増額。

◎民生費

今冬期の大雪による保育所施設修繕並びに2月発生の雪害事故に対する災害弔慰金等に384万円を増額。

◎教育費

小中学校グラウンド整備による土俵整備に伴う旧施設からの移設助成金（PTAが主体で取り組み）また、小学校施設雪害修繕と合わせ256万円を増額。

◎条例改正

生産性向上特別措置法が平成30年5月23日に公布されたことを受け、村内の中小企業者等が作成する設備投資等の導入促進計画が認定され、国の補助金を受け整備する対象設備（法施行日から平成33年3月31日までの間、取得した機械設備等）に対する固定資産税（償却資産）について、最初の3年間に限り免除するための税条例改正です。



戸沢保育所の雪害状況

議会日誌（4月～6月）

4月

2日 辞令交付式
6日 戸沢保育所入所式
8日 戸沢小・戸沢中入学式
13日 共育推進研究所全員研修会
16日 議会広報常任委員会
18日 新庄警察戸沢駐在所新築落成式
19日 最上川舟下り安全祈願祭
戸沢村遺族会総会
23日 例月出納検査
24日 地方創生調査研究特別委員会
25日 身体障がい者福祉協議会総会
29日 戸沢村消防団春季消防演習

5月

8日 議員全員協議会
第2回臨時議会
13日 第31回東京戸沢会総会
14日 農業再生・振興協議会総会
観光物産協会理事会・総会
18日 もがみ北部商工会通常総会
19日 戸沢小中学校運動会
21日 例月出納検査
22日 村青少年育成村民会議評議員会
知事を囲む市町村自治懇談会
24日 議会運営委員会
新庄・酒田道路同盟会総会
村教育懇話会
25日 新庄湯沢道路同盟会役員会
同 総会
27日 とざわ旬の市
28日 町村議会正副議長全国研修会
30日 モモカミゴミバスターズ

6月

1日 議員全員協議会
6日 6月定例会
8日 議会広報常任委員会
11日 ばんぽ館理事會
12日 新庄湯沢道路要望会
13日 最上町村議会議長会6月例会
14日 県町村議会議長会臨時総会
15日 新庄湯沢道路中央要望会
18日 議員県外視察研修
22日 第1回戸沢村環境審議会
最上地区監査委員協議会総会
24日 最上広域議会運営委員会
広域連合議会6月定例会
26日 ばんぽ館総会
27日 村防犯協会総会
例月出納検査

31日 TOZAWAツーリズム協議会
結成会議及び除草作業
（県）議会広報研修会
白糸の滝ライトアップ点灯式

一般質問



加藤 政一 議員

村有地無償貸付でいいのか 「最上川別邸 紅」(草薙地区)

問 「最上川別邸 紅」に村所有の土地を無償で貸しているが、その理由といつまで無償で貸し付けるのか。

村長 「紅」で使用している土地には共有地が含まれており、一部に村名義も含まれています。廃業となった旅館を再建してと村がお願いしたこともあり、使用料は無償となっている。他の共有者の使用料の代わりに、固定資産税を納税していることや、過疎法に伴う固定資産税の減免期間でもあることから今後、検討させていただく。

問 企業努力により、利用者も多く開業して3年以上が経過し、固定資産税の減免も今年度限りで使用料が無償では村民が

納得しないのではないかと。村長 固定資産税の減免期間も今年度限りとなっているので、使用料については相談していきたい。

問 草薙地区共有地の相続関係は、どうなっているのか。

村長 相続人が多方面に点在しており、かなり難しく国や県で用地交渉に携わり、知識と経験のある方を上部団体等に現在

も問い合わせをしている。

問 村の職員にも用地交渉の経験者はいるのではないかと。年数が経つと新たな相続人が発生し、更に大変になるので早急に定めるべきではないか。

村長 村の事業として必要性を書いた手紙を関係相続人に出したが、直接出向いて説明をしないと理解を得られない。早急に検討し進めていきたい。



「最上川別邸 紅」駐車場(共有地)



旧角川保育所内 工事用現場事務所

問 旧学校敷地内に工事用現場事務所が設置されているが、借用申請者と許可するに至った経過と、工事総額に民地借上経費が含まれており、安易に許可をしていることで、民地を借りることを村が阻害しているのではないかと。

村長 工事用現場事務所の設置については、使用申請書を提出していただき、国県の事業にも協力すべきと考え、今後のあり方については、検討していきたい。

工事用現場事務所の旧学校敷地内貸出経過と許可は

申請者	場 所	期 間
(株)カキザキ	旧古口小学校	平成29年4月3日～平成30年6月30日
丸 充 建 設(株)	旧戸沢小学校	平成29年4月1日～平成30年6月15日
(有)篠田土木	中央公民館駐車場	平成29年3月29日～平成30年6月29日
沼田建設(株)	旧角川保育所	平成30年4月20日～平成30年10月31日

村政を問い正す!

5名の議員が一般質問



一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

加藤政一 議員 (5ページ)

- ・村有地の無償貸付でいいのか「最上川別邸 紅」(草薙地区)
- ・工事用現場事務所の旧学校敷地内貸出経過と許可は
- ・保育所に事務職員を配置してはどうか?

早坂信一 議員 (6ページ)

- ・地域おこし協力隊の起業支援策は(任期满了後)
- ・村営デマンドバスによる交通弱者対策は
- ・農業のICT活用を考えているか
- ・戸沢村LINEスタンプ作成の考えはあるか

富樫義人 議員 (7ページ)

- ・新教育長の所信を伺う
- ・児童生徒体力向上の取組みは
- ・学校統合による地域とのコミュニティーづくりの方向は

小野 宏 議員 (8ページ)

- ・5期出馬の考えは(村長) 今後における事業取組と施策
- ・少子高齢化の歯止め策は
- ・廃校跡地やグラウンドの集合住宅活用の考えは

岡田孝一 議員 (9ページ)

- ・畜産クラスター事業の進捗は
- ・学校施設隣接のJR防風雪林の伐採計画は
- ・キムジャンランド建設時補助金に関する今年度返還のため予算措置に至った経過は

一般質問



富樫 義人 議員

新教育長の所信を

問 今年4月に就任された教育長としての所信を伺います。



鯉川小との陸上記録会(新庄市陸上競技場)

教育長 戸沢村がこれまで進めてきた「学社融合の教育」を継承していきたいと考え、地域と共にある教育であり、ふるさとを愛する子ども、心豊かな子ども、育成を考慮されており、統合保育所が隣接され、保小中一貫教育として推進していく考えであります。



通学合宿で食事の盛り付け手伝い(向名高)

問 村の児童生徒、体力向上の取組みの実態は。
教育長 グラウンド整備後は、走り向上や遊具の設置により、遊びを通したなかで体力が増すよう

に小学校は考えられ、一方、中学校では部活動が大きなウエイトを占めており、今後、学校と相談し進めたい。
また、スポーツ少年団

とも連携し、体力向上を図りたい。(スポ少加入率60%)
問 学校統合し、どのように地域とのコミュニケーションに取り組むのか。
教育長 昨年度から地域の声を学校づくりに取り入れて、地域の皆様も学校経営へ参画していただくために、学校運営協議会が組織され、学校と地域がともに学ぶ体制づくりをさらに強めていきたい。
問 地域との交流をどう図っていくのか。
教育長 地域に学校がなくなつて寂しいと感じている方も多くおられ、5年生で実施している宿泊学習のような学校の教育活動や各地区における通学合宿などを通して、地域とつながっていききたいと考えております。

体力向上の取組みの実態は？
地域との交流をどう図るか？

移住・定住対策は！

一般質問



早坂 信一 議員

問 地域おこし協力隊の任期満了後も、村に定住しやすいように、起業を認めていくべきと考えるがいかがでしょうか。

村長 県内の状況も鑑み定住促進に向け、要綱を改めた上で、起業を中心とした副業について、認める方向で考えてまいります。

問 村営デマンドバスは、交通弱者にとって大切な生活のアイテムになっています。この仕組みを、将来にむけた知恵を加え、村民に優しい「戸沢流次世代交通大綱」として、確立していく必要があると考えます。いかがでしょうか。

村長 地域公共交通会議でも議論し、より利便性を高めていきます。

問 新庄市内の循環バスにも、村として支援をし、最上広域交通プロジェクトとして確立すべきと思

うがいかがでしょうか。
村長 最上広域の首長会議の中でも議論を続けてまいります。



南部地区の足である「やまなみ号」



「ぼんぼ号」は北部・中部を走る。

ICT活用政策や
LINEスタンプについて

問 村の基幹産業である農業分野でのICT活用は戸沢村が先陣を切っており、取り組むべき重要な政策であると考えます。考え方を伺います。

村長 最上管内での検証を踏まえ、費用対効果等を考え、システム導入を図るべきか判断していきます。

問 国内6800万人が利用する通信アプリLINEの「戸沢村宣伝スタンプ」を作成して、全国に戸沢村を発信するべきと考えますが、村の考え方を伺います。

村長 村の若年層の意見を聞きながら、検討してみたいと考えています。



整備されたほ場(神田地内)

一般質問



岡田 孝一 議員

畜産クラスター事業の 進捗状況について

問 畜産クラスター事業（※注1）の進捗状況について伺います。

村長 これまでの経過は、平成29年6月に現地法人（株）山形戸沢ファーム、同年8月戸沢村畜産クラスター協議会を設立し協議が行われ、具体的な手続きが終了し、造成工事に取りかかるまでに至っている。

総事業費は28億円で、平成30年度10億円の事業計画で進み関係機関へ申請は終了、事業採択見込みとなっている。

また、稼働後の悪臭や水質汚濁の対策は、農村環境保全条例を制定したなかで、環境保全員や環境審議会委員の選任を行っていく予定である。



造成が始まった養豚施設用地（野口地内）

問 この事業は賛成であるものの、まだ住民のなかで不安を抱えている方がいるので気持ちを和らげる意味でお聞きします。

6月に事業に着手できるとか、良い面だけを答弁されるのではなく、農村環境基本計画に沿って事務的なものが進んでいないなかで、環境を守ることができるとか疑問である。

村長 環境保全協定書の結ぶ前に、しっかりと順番を間違えないで事業を進めなければ不安は消えない。

村長 環境審議会委員や環境保全員の選任等を急ぎ、地域住民説明会を開催し、事業工程を説明させていただき、不安解消を計ってまいります。

問 環境保全協定書を結ぶ前に議会への説明をぜひお願いし、地域住民の不安解消に取り組んでいただきたい。



以前視察した県外養豚施設（八戸）

（注1）畜産クラスター事業とは畜産農家と畜産関係者が「クラスター（ぶどうの房）」のように一体的に結集することで、畜産の収益性を地域全体で向上させる為の取組みを言います。

当村は、大規模養豚事業展開のため協議会を設立。

五期出馬はあるのか？ 今後の村の施策は！

一般質問



小野 宏 議員

問 五期目の村長選への出馬の考えは、あるのか伺いたい。

村長 村民の皆様の付託に応える職務の責任の重さを痛感しながら本村発展のために精進してまいりました。次年度以降も引き続き村民の皆様方の安心・安全を最優先し、各施策を更なる真摯な気持ちで、村政運営を担っていききたい。

問 園芸作物のメガ団地や畜産クラスター事業は、村の活性化を図る唯一の事業と思いますが、五期目にむけての公約がありましたら伺いたい。

村長 建物やハード事業は予算を組めばできますが、五期目にむけては、中身をどうすべきか考えて展開していききたい。

問 全国的に人口減少・高齢化社会が進むなか、人口減少を食い止めるの

少子高齢化の 歯止め策はあるか！

また、基幹産業である農業の振興策を今まで以上に力を入れながら、地域に合った「仕組み」ここで生活できるような施策を考えていききたい。



畑地化の整備が進められている津谷（鞭打野）地内

いた。

村長 小中学校・保育所の統合による校舎、施設の建設など、ハード事業や自主防災組織の育成や、高齢者対策といったソフト事業を展開してききました。

人口減少を食い止める施策として、今後は若い世代をいかに増やすかが必要となります。これま

での施策を含め、定住対策と子育て支援をさらに充実させ、人口の減少率を抑えるかが重要で、今後の重点施策と考えています。

問 廃校跡地、グラウンドを活用して、若者向けに集合住宅を考えてはどうか伺います。

村長 今後、各課で検討していききたいと思っています。



旧戸沢小学校 校舎・グラウンド



平取町の概要説明を受ける

平取町

平取町は人口5200人、古くから日高地方の米どころとして発展してきた農業の町です。昭和47年から、トマトの作付けが始まり複合経営を推進し、平成5年からUターンや新規参入者対策に積極的に取り組み、現在まで31戸、就農家族数83名を町外から受け入れました。

新規就農受け入れのポインントは、①安定した農業経営ができる品目（トマト）がある。②町・JA・農業者が受け入れに協力的である。③受け入れ条件（夫婦・意欲・資金・年齢）のハードルを高くして選考する。このような就農対策が実を結び「移住・定住・就農」に繋がっている。



びらとり農協トマト選果場（自動選別される施設内）



びらとり農協トマト選果場（傷みの確認）



平取町立二風谷アイヌ文化博物館見学（北海道唯一）

（株）Jファームや平取町の経営内容には驚きのものがありました。

経営規模の違いはありますが、戸沢村で進めている園芸団地構想に少しでも生かしたい視察研修となりました。

採択の理由
国会が疑惑の速やかな真相究明と国民に対する責任説明を果たすよう求めるため。
意見書を関係機関に提出しました。

提出先
衆参両院議長
内閣総理大臣
他関係閣僚

戸沢村労働協議会
議長 影沢 智志

みなさんの
請願・陳情
採択
されました

◇「森友学園」「加計学園」疑惑の速やかな真相究明と国民に対する責任説明を果たすよう求める意見書提出の請願

提出者
戸沢村大字古口2939

視察研修報告

（株）Jファーム

苫小牧市にある、（株）Jファームでは最先端の栽培方法による施設園芸を視察した。
トマト栽培棟は0.5ha、軒高5mのハウスに



ズラリと続くトマト栽培棟

9種類1万2千株を土を使わないロックウール方式での栽培法は、環境にも優しいとの説明を受け、高齢者も働ける近代農業で、香港では1ヶー〇〇円でも売れる高級品（甘いトマト）として輸出されている。

ベビーリーフ（注1）棟は1haのハウスで栽培され、発芽後10〜50日程度の5種類以上の若葉をミックスして、パック詰めされ、出荷されるそうです。

また、糖度のあるトマトやジュース・ジャム等の加工品を販売する所も併えており工場のような気がしました。
元々この会社は、日本鋼管や川崎製鉄といった歴史と新技術の研究や開発に取り組みされており、施設内で温泉熱を使用したヒートポンプやバイオマスボイラ、天然ガスエンジン等を温室や売電にエネルギー利用しておりました。

（注1）ベビーリーフとは発芽後10〜30日程度の若い葉菜の総称



直売所の商品（ジャムや生食トマト）



施設内説明（ヒートポンプ）

6月18日から20日まで最先端の大規模施設園芸に取り組んでいる北海道苫小牧市（株）Jファームと、定住・移住対策に先進的に取り組まれている日高支庁管内の平取町（びらとりまち）に行政視察を行いました。



花嫁さんに乾杯

第31回

結婚記念日／2012年12月31日



名 高

海藤

ジュン カナ
潤さん・佳奈さん
アオイ ソラ
葵ちゃん・空ちゃん

潤さん・

佳奈さんおめでとう
ございます。戸沢村を
大好きになって家族皆
さんで明るい家庭を
築いて下さい。

花嫁さんの ひとこと

宮城県から戸沢村に家族で
越してきて1年が経ちました。
隣の県とは思えないほど、気候や文
化・方言が違い驚いた1年でした。
地域の皆様とふれ合える機会を大切
にしながら過ごしていきたいと思
いますので、よろしくお願いします。

〔趣 味〕 ミシンで製作
〔特 技〕 ソフトボール
〔出会い〕 職場の同僚

議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

9月7日(金)～13日(木)

本議会は、インターネットでもご覧
いただけます。詳しくは議会事務局
☎72-2113にお問い合わせください。



花と緑を広める地域ふれあい活動に参加の皆様(戸沢保育所)

編集 後記

毎年、100人近く村の人口
が減り、27年後には2300人
になるといふ。

毎年同じ内容の予算が配分さ
れるだけで、村の施設統合や集
合により、建物は大きく立派に
なりましたが、それだけで良い
のだろうか。

少ない子どもをしっかり育て、
村に残れる受け皿をつくること
が、公に携わる人の責務です。

財務省の公文書偽造で、森友
学園への国有地売却問題が再燃
し、国民の信頼を失った。国会
は、責任をもって、国民が納得
する形で説明されることを願い
編集後記とします。

副議長 加藤 臣一

表紙の言葉

戸沢保育所「りす組」の(一歳
児)皆さんが外遊びから、お散歩
車に乗り、保育所に戻るところで
す。すこやかに育っている様子を
見ることができました。保育士さ
ん感謝です。